

国際会議から 国際材料学会 (MRS) 2013 秋季大会

Material Research Society (MRS) は、有機材料から無機材料、金属材料を含めた先端材料に関する国際的な学会です。このMRSが主催する大会の中で、最も大きい大会が年に2回開催される春季大会と秋季大会です。毎年、春季大会がサンフランシスコ、秋季大会がボストンと、どちらもアメリカで開催されます。

今回、私が参加したのは、2013 12/1～6の1週間、ボストンで開催された2013秋季大会です。国際的に非常に大きな学会とあって、参加者が1万人以上、発表は52のセッションに細かく分かれ、その件数は件名と発表者の名前のみが記載されたプログラムが400ページに及ぶという大規模なものでした。

私は、ゴムやゲルの研究に関するセッションで、柔軟な圧電材料である圧電ゴムについて、新たな作製方法や圧電性能向上に向けた取り組みについて発表してきました。日



間々田祥吾  
材料技術研究部  
防振材料研究室  
副主任研究員

本の学会では、発表時間と質疑応答の時間が決められているのに対して、本学会では、持ち時間が15分というだけで、発表時間は自分で調整するというものでした。また、ポスターセッションの発表時間が20:00～23:00と遅いのも日本の学会とは異なる点だと思います。全体の発表としては、大学や研究機関の発表が多く、私のセッションでは、ゴムやゲルの合成、構造解析など、その分野に関する先端の研究発表と討議が活発に行われていました。



会場のホテルの入口



ボストンの風景

正式名称：2013 MRS Fall Meeting & Exhibit  
開催国：アメリカ合衆国(ボストン)  
期 間：2013/12/1-6  
主 催：Material Research Society  
開催頻度：年2回(春、秋)  
次回開催予定：2014年4月 アメリカ合衆国  
ホームページURL：<http://www.mrs.org/home/>